

JA本渡五和だより

あさつゆ

No.393

7

令和7年7月号



本渡南小学校田植え体験



JA本渡五和

耕そう、大地と地域の未来。

発行 JA本渡五和 編集 総務部総務課 発行日 令和7年7月19日
熊本県天草市南新町9-22 TEL 0969-23-2231

JA本渡五和

夏の定期貯金 キャンペーン2025

令和7年7月1日～令和7年8月31日まで

期貯金：10万円以上個人新規ご契約

適用金利

1年定期 年0.400% ※税引後 0.318%
3年定期 年0.450% ※税引後 0.358%

JAで年金をお受取りの皆様限定特典！

年金受給者専用定期貯金 ゆとり定期貯金 0.2%上乗せ(新規預入)

1年定期 0.475% ※税引後 0.378%
2年定期 0.525% ※税引後 0.418%
3年定期 0.550% ※税引後 0.438%

ネットバンクならご自宅や外出先でご利用いただけます。残高照会・取引履歴照会・振込・振替・税金各種料金の払込(ペイジー)・定期貯金・ローン一部繰上返済など。

アプリで簡単！



口座開設店舗でなくても、お取引いただけます。ご都合の良い店舗やATMをご利用ください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

JAバンクアプリプラス

詳しくは、お近くの窓口へお尋ねください。



★中央支店 ☎22-3215 ★本渡支店 ☎22-4175 ★五和支店 ☎34-0101

ご契約いただける方は個人の方に限ります。キャンペーン金利を適用する場合は、お預け入時から初回満期日までの当初預入期間のみとさせていただきます。自動継続後は店頭金利を適用します。中途解約される場合は解約時の当JA所定の中途解約率を適用させていただきます。お利息には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。本商品は貯金保険の対象です。同保険範囲内で保護されます。



総会の様子

第36回通常総代会開催

原案通り承認・可決



挨拶を行う吉田組合長

第36回通常総代会が6月21日(土)、本店大会議室において開催されました。総代493名中380名(委任状・書面議決書を含む)の総代の方のご出席を頂きました。

総代会では、次の第1号議案から第3号議案および附帯決議が上程され、慎重に審議された結果、原案通り承認可決されました。

第1号議案 令和6年度事業報告及び剰余金処分案について
(報告事項) 令和6年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について

第2号議案 令和7年度事業計画及び関連事項について

第3号議案 JA活動総合3カ

年計画について

附帯決議 本日の決議事項中、軽微な事項の変更・修正及び誤算・誤字の訂正並びに法令、その他行政庁の指示による必要な修正加除は、これを理事会に一任するものとする。

報告事項 ○子会社の業務報告について ○「JAバンク基本方針」の変更について

令和7年度事業方針

令和7年度は、第8次JA本渡五和活動総合3カ年計画の初年度となり、自己改革を着実に実践し、更なる「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を図るために、持続的・安定的な生産基盤の強化を図ります。国際情勢の不安定化や急激な円安による原材料価格の上昇など、

農業においても生産コストの上昇や肥料・飼料・燃油価格の高騰が依然続いており、加えて、異常気象による自然災害の頻発等により、農家経営に大きな影響が出ております。このような時こそ、協同の力の発揮により課題克服に向けた最大限の取り組みを展開してまいります。

また、令和8年4月の「熊本県域JA」構想は一部JAの離脱により見送られました

が、より盤石な経営基盤を構築するために、県下共通の努力目標として掲げた「重点取り組み事項・目標基準」の確実な達成に向け、グループ一体となって取り組んでいるところです。当JAにおいても引き続き、当該目標達成に向けた事業・組織運営に取り組んでまいります。

特に、支店の機能強化を図り、組合員・利用者の皆さまの満足度向上を実現するべ

令和7年度の重点取り組み事項

1. 農業者の所得増大に向けた取り組み

- ① 地域営農組合法人や担い手への経営支援と相談機能強化
- ② 生産資材価格等高騰対策の継続・拡充
- ③ 農業施策への積極的な対応と生産コスト低減に向けた支援強化
- ④ 物流体制の効率化・合理化の実践

2. 持続可能なJAの組織・経営基盤の確立に向けた取り組み

- ① 組合統治(ガバナンス)の強化とより高度な内部統制の構築
- ② ぐらしの活動による理解醸成と組合参画の促進
- ③ 協同組合としての人づくり
- ④ より盤石な経営基盤の確立と県域構想にかかる共通目標の達成継続



承認採決の様子



AIによる説明



議長の福田誠さん(左)山下和弘さん(右)

【JA活動総合3カ年計画 進捗状況報告】ダイジェスト版①

	重点実施事項	実施具体策	基準年度 実績値（令和3年度）	令和6年度目標値	令和6年度 実績値	実績の要因及び今後の対応策
1 営農指導・販売部門	「農業所得アップ運動」の実践	販売品取扱高	13 億 5,763 万円	14 億 7,500 万円	11 億 9,841 万円	令和6年度の販売高についてはばざ計画比をクリアしましたが、3年間で離農による生産量の減少や子牛価格の低迷等あり3カ年の対比は落ち込みました。高温対策が生産量の確保に重要な対策の為、各品目関係機関と協力し、補助事業も活用しながら対応していきます。
		JA 職員による援農作業	援農作業の取り組み	実践	利用農家 9戸 支援者数 41名	申込はあるものの、時期が重なるため支援者数の確保が必要であり、今後もJA、天草市職員だけでなく、JA 女性部や一般の方へも依頼し、利用農家の声に応えていきます。
	農業所得アップを実現する体制の構築	営農指導員数の確保	営農指導員数 10名	11名	8名	退職者もあり人員は減少しましたが、補助事業などは品目にかかわらず対応できる為、協力して対応していきます。又、融資などの相談も含め専門部門と共同で出向く体制を図り、相談役として訪問活動を充実します。
		TAC 等による巡回	営農法人等 8法人 新規就農者 13人	9法人 16人	8法人 17人	営農組合だけでなく専門部会にも目的をもって訪問し、スマート農業や負担軽減資材などの情報提供を今後も行っていきます。
	担い手と連携した地域農業振興	研修生の受け入れ	1法人受入	受入・支援	1法人受入	研修による技術面、経営面も指導し後継者育成として取組みました。今後も持続可能な農業を目指し後継者育成に努めていきます。
		天草市新規就農サポートセンターでの受入・支援	受入・支援	受入・支援	2件受入・支援	サポートセンターと協力し今後も担い手確保に努めます。又、規模拡大等の要望にも情報提供を行い生産量の確保に努めていきます。
2 購買部門	生産者の手取り最大化を目的にトータルコスト低減に向けた取組みの実践	営農購買取扱高	肥料 8,500 万円 飼料 1 億 6,000 万円 農業 8,500 万円 資材 6,100 万円	肥料 8,600 万円 飼料 1 億 5,000 万円 農業 8,500 万円 資材 6,000 万円	肥料 8,445 万円 飼料 2 億 348 万円 農業 9,318 万円 資材 5,943 万円	資材価格の高騰や管轄外からの飼料購入により取扱高は計画を上回りました。しかし、供給原価も上昇している為、少しでも安価供給ができるよう、3JAによる共同仕入れや共同入札を今後も継続していきます。
	農業機械及び農機ステーション利用拡大に向けた取り組み	格納施設としての農機ステーションの充実	農作業終了後に点検整備を行い、格納庫として利用	ステーション事業の利用拡大と充実	54台利用	農業者の機械の保有台数の増加や大型機械格納庫としてJA保有の施設を利用し喜ばれていますが、現在の施設では限界がきている為、令和7年度は五和地区の旧玄米倉庫を新たに農機ステーションとして予定しています。
	生活用品全般の利用拡大に向けた取り組みの実践	生活購買取扱高	3 億 200 万円	3 億円	2 億 7,707 万円	令和6年度はふれあい感謝祭を開催しませんでした。聴力測定会の開催で計画に近い実績となりました。令和7年度については昨年同様、ふれあい感謝祭は開催しませんが、仏壇展示会の開催やミニ展示会を開催する予定にしています。フジ医療器と連携し、補聴器推進を行い実績に繋げていきます。
	グリーントップ事業の取り組み強化	営農指導と連携した産直生産者の育成と産直品の確保	産直品取扱高 2 億 7,200 万円	2 億 9,000 万円	3 億 6,201 万円	営農指導により産直会員の栽培技術が向上し、品ぞろえが豊富となったことから、消費者の需要が増えました。今後も品ぞろえを豊富にするため、定期的な栽培講習会の実施や協議会を開催し会員相互の栽培技術の充実に努めます。
3 ぐらしの活動・厚生部門	JA ぐらしの活動を通じた地域の活性化・生活インフラ機能の充実	健康寿命100歳プロジェクトの実施	ウォーキング大会実施	ウォーキング大会 年1回実施	ウォーキング大会 本渡南地区にて開催	コロナ明けで2回目のウォーキング大会を本渡南地区で12月7日に開催し、参加者が75名で計画の半数となりました。令和5年度は抽選会を行わなかった為、参加人数が減少したと思われます。令和6年度は抽選会を行いましたので令和7年度の二江地区で開催するウォーキング大会は参加者が増えることを期待しています。
		ぐらしの活動満足度調査（アンケートの実施）	満足度 90% (女性大学のみ実施)	満足度 95%	・女性大学 満足度 92.5% ・ウォーキング大会 満足度 95.8%	女性大学については、ミカンの収穫体験やロウソク作り等の現地研修を行い、充実した内容で満足度は 92.5%でした。ウォーキング大会については、75人の参加で計画の半数でしたが、抽選会を行い喜ばれました。次回も参加したいとの声もあり、満足度は 95.8%でした。
	准組合員・協力組織に対する活動・事業への参加・事業利用拡大	青壮年部 正組合員数 総代数	137名 54名	正組合員加入促進 青壮年部総代登用促進	121名 50名	正組合員数及び総代数が共に減少となりました。令和7年度は支部の集約を行い、正組合員加入や改選となる総代への登用を共に促していきます。
		女性正組合員比率 総代女性占有率 女性理事数	21.9% 5.2% 3名	女性正組合員加入促進 女性総代登用促進 女性理事登用促進	21.8% 5.9% 2名	正組合員数については微減、総代数については微増・理事登用数については昨年と同数となっています。令和7年度は支部の集約を行い正組合員加入促進や改選となる総代への登用を共に促していきます。
	厚生部門	がん健診等への受診啓発	チラシ配布により受診勧奨	チラシ配布により受診勧奨	大腸がん健診(組合員向け)の実施3名受診	組合員に健康で農業を継続して頂くために検診を推奨しています。今後は厚生連が行っている人間ドックの周知も行っていきます。
4 信用部門	現行中期戦略からの継続取り組み	年金・給振指定口座を増やし、集める貯金から集まる貯金へ	個人貯金 360 億円 総貯金 440 億円	個人貯金 367 億円 総貯金 440 億円	個人貯金 350 億円 総貯金 402 億円	個人貯金の減少は相続による流出が主な要因です。また、公金が入札できなかったことで総貯金の減少につながりました。安定的な貯金量を確保する為には個人貯金の獲得は必須であり、地域から選ばれる金融機関を目指していきます。
	金融仲介機能発揮	農業者ニーズに応じた資金提供	農業資金新規実行額 2.2 千万円	農業資金新規実行額 4.0 千万円	農業資金新規実行額 2.6 千万円	訪問活動を通じて、中期的な目線を持って営農計画や要望に寄り添った資金ニーズを把握し資金提供に努めます。
	利用者基盤強化、組合員・利用者の豊かなぐらしの実現	新規口座開設時付帯取引率（主要商品セット率）	新規セット率 26%	新規セット率 25%	新規セット率 23.5%	口座開設時に使って便利だと実感できる利用方法を提案し主要商品のセット率向上に努めます。
	業務効率化	端末オペレーション率の低減	端末オペレーション率 23%	端末オペレーション率 19%	端末オペレーション率 14.6%	QR 伝票の活用や法人ネットバンクを推奨し、業務効率化を図っていきます。
5 共済部門	内部管理態勢構築・健全性確保	基本方針等の枠組みに沿った管理体制の確立	実践中	取組実践	本店金融課に事務指導担当者を2名配置し、事務指導並びに検査を実施	内部管理体制の強化を図るため、定期的な事務指導を継続していきます。
	全契約者への3Q 活動による組合員・利用者への安心と満足の提供	「あんしんチェック」の実践を通じて組合員・契約者との関係性の強化・再構築を実現	—	あんしんチェック実施契約者数 5,000 人	6,146 人	IA を中心とした3Q 訪問活動により目標を達成する事が出来ました。今後も組合員・利用者へのさらなる「安心」と「満足」の提供に向けて、3Q 活動を通じた最良の保障・サービスの提供に向けた取組みを全契約者に向けて実施するとともに、利用者満足を意識した契約者フォロー活動に取り組めます。
	「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスの取れた総合保障の提供	自動車共済の確かな安心保障と掛金のお得感を生かした損保からの切替提案と更なる安心充実保障の提案強化	自動車共済契約継続率 94.7% クルマスター占有率 34.8%	自動車共済契約継続率 95% クルマスター占有率 35%	自動車共済契約継続率 95.1% クルマスター占有率 37.7%	既契約者への保障充足および他損保への契約流出を防止するため、年間を通じた契約者フォロー活動を実施し、目標を達成する事が出来ました。今後も継続契約の確保に向けた自動車共済の期間終了通知および継続の案内を早期に行い、契約の維持を図り、更なる継続率向上を目指します。また、クルマスター占有率についても各種特約の付帯率向上に向け、グレードアップ提案への取り組み強化を行っていきます。
	事務負担軽減効果の最大化および契約者・利用者対応力の強化に向けた取り組み	ペーパーレス手続きの更なる定着・浸透・利用拡大への取り組み	ペーパーレス申込手續割合 ・長期共済 99.4% ・自動車共済 97.4%	ペーパーレス申込手續割合 ・長期共済 95% ・自動車共済 95%	ペーパーレス申込手續割合 ・長期共済 95.5% ・自動車共済 99.1%	事務手続きの利便性向上により、大幅な事務負担軽減を図り、目標を達成する事が出来ました。今後も事務負担軽減効果を最大活用し、組合員・利用者への更なる対応力強化を実現するよう取り組みます。
	コンプライアンス強化に向けた取り組み	コンプライアンス強化のための契約者直送および連合会直接払割合向上への取り組み	—	契約者直送割合 99% 連合会直接払割合 97%	契約者直送割合 99.6% 連合会直接払割合 98.6%	コンプライアンス強化に向けて案内書等の直送・共済金の直接払割合の向上に取組み、目標を達成する事が出来ました。今後も継続して取り組みます。
	事業基盤確保に向けた取り組み	保有契約の維持および組合員・利用者の万全な保障継続に向けた解約・失効率低減の取り組み	長期共済解約・失効率 2.37%	長期共済解約・失効率 2.2%	長期共済解約・失効率 2.68%	利用者の万全な保障継続に向け、解約・失効率の低減に努めます。
	自動車査定部門のコンプライアンスへの確実な対応	組合員・利用者の期待と信頼に応え続けられる自動車査定部門を目指す	利用者総合満足度 95.6%	利用者総合満足度 95%	利用者総合満足度 90.1%	コンプライアンスを遵守し、利用者の期待と信頼に応えられるよう部門を挙げて取り組みました。今後は共済連 SC との連携を密に行い、事故受付対応や損調体制等のあらゆる面について、利用者視点に立った自動車損害調査サービスの提供を行い、利用者満足度の向上に取り組めます。
6 管理・企画・教育・広報部門	組合員・社会からの信頼確保に向けたガバナンス・内部統制の確立と経営の健全性の確保	事務手続きの平準化	クロスチェックの実施	クロスチェックの 年 2 回実施	上半期と下半期の2回実施 結果は理事会に報告	現金を扱う部署に対し現金精査への立会や管理者等への聞き取り等により業務プロセスや管理者の業務知識を確認しています。これにより気づいた事項について理事会への報告、指導を行いました。
		内部監査士資格認定率向上	内部監査士認定率 27.0%	内部監査士合格者 2名以上	内部監査士合格者 0 名合格 (認定率 35.8%)	認定率は目標を達成していますが、職員の意識向上の為にも資格取得を奨励していきます。
	「めざす JA 像」を具現化するための人づくり	組合員の組織活動・運営への主体的な参加・参画を促すため、多様なテーマに関する組合員学習活動の実施	女性大学の開催（年3回開催）	女性大学の開催	女性大学 年5回開催 29名参加	女性大学については、ミカンの収穫体験やロウソク作り等の現地研修を行い充実した女性大学となりました。
		日本農業新聞への積極的な記事送稿	年間送稿数 27本	年間送稿数 50本	年間送稿数 35本	日本農業新聞への送稿数は達成目標の 50 件に届きませんでしたが、積極的に送稿し送稿数の増加に努めていきます。
	「県下共通の努力目標」達成に向けた取り組みの実践	労働生産性 6,000 千円以上 人件費生産性 130%以上 事業管理費率 95%未満 不良債権比率 3.2%未満 単体自己資本比率 12.0%以上	6,850 千円 142.11% 94.87% 2.02% 15.41%	6,000 千円以上維持 130%以上維持 95%未満維持 3.2%未満維持 現状（±1%）維持	6,472 千円 145.5% 93.7% 0.66% 14.36%	目標値は達成していますが、自己資本比率については基準年度から 1.05%下がっています。5 つの項目のより一層の改善・上乗せに努めていきます。
		資本・財務対策	事業利益 2,124 万円 経常利益 5,852 万円 利益準備金 6.8 億円 目的積立金 4.1 億円	1,192 万円 8,992 万円 7.2 億円 4.7 億円	5,734 万円 11,212 万円 7.5 億円 5.5 億円	事業利益、経常利益ともに計画以上の実績を上げることができました。利益準備金、目的積立金についても計画以上の積み増しができました。今後も利益の確保、目的積立金の造成に努めていきます。

作物

農薬散布時には、近隣農作物への飛散に注意しましょう！

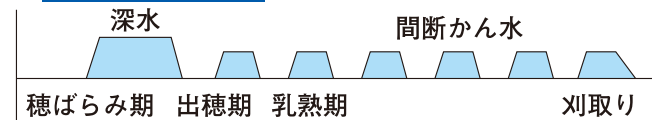
早期水稻

水管理

穂が出揃ってからは、根を健全にするため間断かん水を徹底しましょう。早めに水を落としますと粒張り不足や胴割れ米の原因となり、品質食味を落とします。落水期は刈取りの5日前まで延長しましょう。

間断かん水とは「2日間はかん水、3日間は落水」状態です。台風が接近する場合、風が強くなる前に深水にしましょう。

水管理表

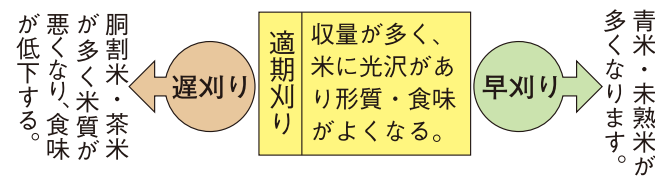


適期刈取り

1穂の粳のうち、85%ぐらい熟れたところが適期です。

架干し（水分は15%を目標）

3～4日間を厳守してください。長くなると胴割米が多くなります。



普通期水稻

・水管理…中干し（7月31日まで）後は、間断かん水を行う。

・穂肥…穂数の増加、実入りをよくするため有機苦土入038号を10a当たり20kg施用。ヒノヒカリで8月5日頃です。

病害虫防除

いもち、白葉枯、紋枯病

…オリブライト豆つぶ10a当たり1kg、8月上旬散布。

カメ虫（斑点米）ウンカ防除

…畦畔雑草、水田周辺雑草を除去し、耕種的防除を行ってください。

トライフロアブル＋スタークル液
トライスタークル粉DL
スタークル顆粒水溶剤
トレボンスター粉DL

穂揃期
乳熟期

野嶋さん家族が「Do You のうぎょう? クエスチョン」に出演



五和町の野嶋一郎さん家族が、KABのテレビ番組「Do You のうぎょう? クエスチョン」の取材を受け、天草黒牛を紹介しました。体験に来た子どもと一緒に子牛にミルクやり体験を行ったり、いろいろな質問を受けたり、天草黒牛の特徴についてPRしました。

放送は8月1日(金)19:54～20:00分からの予定です。ぜひご覧ください。

野菜

秋冬野菜面積推進取りまとめ中です。

冬レタス、玉ねぎ、春バレイショ、タカナ、取りまとめします。指導員とご相談の上、面積拡大を図ってください。

オクラ…出荷規格（10～13cm）を厳守してください。

病害虫防除（収穫前日まで）

すす病

…ダコニール1000 1,000倍 前日5回

灰色カビ病・黒斑病

…ロブラール水和剤 2,000倍 前日3回

うどんこ病・黒斑病

…トリフミン水和剤 5,000倍 前日3回

カメムシ・アブラムシ

…トレボン乳剤 1,000倍 前日3回

オオタバコガ

…アフーム乳剤 2,000倍 前日2回

アブラムシ

…ダントツ水溶剤 2,000～4,000倍 前日3回

★オクラの管理

■追肥については、1週間～10日に1回S646号（またはアサヒエース）を10a当たり20kg～40kg（1～2袋）施用。

■灌水については、1週間間隔で行ってください。

畜産

○空胎防除 8月4日(月)予定（本渡地区）
17日(日)予定（五和地区）

○子牛セリ 8月6日(水)～8日(金)

《夏季における飼養管理》

家畜には生産のために最も適した環境温度域（生産温度域）があり、乳牛は10～18℃、肉用牛では13～25℃とされています。気温が26℃を上回ると、呼吸数を増加させたり、発汗を活発にして水分を蒸発させるなど、体温を一定に保つために体内の熱の放散を活発

に行います。気温が上がると水の摂取量が多くなります。水の働きは、暑さによって失われた水分を補給するだけでなく、体内を冷やして体温を下げるといった効果もあります。

夏場は特に、牛が低温で新鮮な水をいつでも飲めるようにしましょう。（換気扇の設置も有効）



水稻玄米水分計をご利用の皆さまへ

水分計の設置場所は次の通りです。【設置場所 計8カ所】 ※ご確認のうえご利用ください。

○プラザ本渡東店 ○グリーントップ本渡（資材店舗） ○本渡山口の里営農組合事務所
○五和支店 ○本渡ライスセンター ○本町営農組合事務所
○プラザ五和東店 ○宮地岳営農組合事務所



健康のはなし

今月のテーマ 食中毒の原因 **二次汚染**にご注意を！

食中毒は、細菌やウイルスを持っている食品だけが原因ではありません。
二次汚染とは、食品に付着していた細菌やウイルスが、人の手や調理器具などを介して、他の食品にうつってしまうことです。
食中毒の多くが、調理工程や調理済み食品への二次汚染が原因で起こります。しっかりとした対策をとることで、食中毒を防止しましょう。

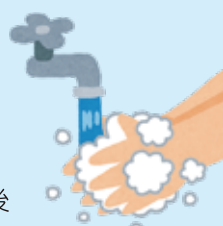


二次汚染防止4つのポイント

手洗い

作業が変わるたびに
石鹸でしっかり手洗いを

必ず手洗いしましょう
・調理をする前 ・トイレの後
・生肉、生魚、卵を扱った後



調理器具

まな板や包丁、
箸やトング等
用途別に使い分けを

・食材を変えて使用する場合は、その都度、洗浄・除菌を
・生ものを取り扱うときは、専用の器具で



肉・魚の汁

肉や魚介類の汁が、
他の食材や調理済み食品へ
かからないように

・冷蔵庫や冷凍庫へ保管する時は、ビニール袋に
入れたり、蓋つきの容器へ入れ替えを



汚染経路の遮断

生の食材を触った手であちこち触れない

・もしも触れてしまったら、直ちに洗浄し、
アルコール除菌を
・特に、冷蔵庫の取っ手や水道の蛇口、トイレ、
ドアノブ等は定期的に洗浄・除菌を



エコープマーク商品の紹介



クロスワード
正解者の中から
抽選で
3名様

●エコープ こめ油 750g
●エコープ ごまだれ
(有機いりごま使用) 230ml
●エコープ こだわりドレッシング
(ゆず) 230ml

グリーントップ本渡からの お知らせ

◎8月13日～15日の営業時間

13・14日	15日
通常営業	17時閉店

◎15日のくるもんは休みとなります。

グリーントップ本渡 ☎ 24-1516



プリエールほんど
信頼と助け合いのJA葬祭 TEL 22-0983

拓心高校だより 拓心の風

天草拓心高校の様々な活動を紹介してまいります

野生鳥獣(猪)を有効活用したソーセージの製造

天草市でもたくさんの猪が出没しており、農業被害も深刻です。野生鳥獣を有効に活用するために、ソーセージを製造しました。猪肉と豚脂の配合割合を調整しながら試作しました。直径が細いウィンナーソーセージは、作るのがとても難しく、肉の充填量が多すぎると皮が破裂したり、少なすぎると見た目の悪いものができたりします。おいしい加工品ができるよう、これからも改善と工夫を重ねていきます。この製品をきっかけに鳥獣被害は身近にある問題だと知ってほしいと思います。(食品科学科)



理事会だより

令和7年6月26日本店において理事会が開催され、次の議案が審議・承認されました。

- 実績報告 令和7年度5月末事業実績報告について
- 第1号議案 令和6年度業務報告書について
- 第2号議案 給与規程の改正について
- 第3号議案 職務権限表の見直しについて

第4号議案 夏期賞与の支給について 【報告事項】

1. 自主検査(5月)結果報告について
2. 3カ年計画進捗状況報告について
3. JA財務モニタリングについて
4. 夏の定期貯金キャンペーンについて
5. グリーンフェアの実績について
6. 大仏壇博の実績について
7. 生活購買事業関連の実績について
8. グリーントップ夏ギフトの廃止について

